

時代の先端を、百年の森10年!

●「浦高百年の森」10周年記念活動!

今日10月11日(日)は、寄居町風布の地で育てている「浦高百年の森」の10周年記念活動でした。朝7時30分、春日部地区浦高会からの参加者3人で車に乗り春日部駅西口をスタートし、白岡市～蓮田市～久喜市～北本市～〔荒川を越えて〕～吉見町～〔ここから荒川右岸を走って〕～熊谷市～深谷市～寄居町～〔鉢形城の脇を抜けて〕～皆野寄居バイパスに乗り風布ICを降りて山道を走って会場へと約2時間15分、到着は9時45分の旅でした。



〔到着した時には小雨がパラパラと〕



〔バーベキュー用の火が熾されて〕



〔横断幕も取り付けられ、準備完了〕



〔記念式典が開会〕

続いています。校歌斉唱では、吹奏楽部の金管楽器10人が演奏してくれました。

これまで“百年の森作業の日には雨が降らない”という神話があったのですが、行きの道中では時折強い雨が降っており、記念式典や作業を危ぶんだのですが、風布の山道を登る頃には雨も小降りになり、“体験の森”の山小屋に着くと傘もいらなかった状態になっていました。会場には小テントが張られ、作業スペースではモクモクとバーベキュー用の火が熾されていました。手造りの横断幕も取り付けられて記念式典の準備が着々と…。

10時、藤野事務局の開会宣言で記念式典が始まりました。

「浦高百年の森」10周年記念活動

1. 開会
2. 校歌斉唱
3. あいさつ
4. 功労者表彰

…とプログラムは

川野幸夫浦高同窓会会長から

「雨模様の中、たくさんの皆様にご出席いただき、10周年の記念活動が盛大に行われますこと、心からお礼申し上げます。この森も10年が過ぎ、木々がしっかりとまいりました。これも皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。さて、近年のさまざまな災害を見ますと、人間の勝手な振る舞いに対して自然を掌る神様が腹を立てているのではないかと思います。そうした神の心を鎮めるためにも私たちの森づくりが大切ではないかと思っています。また、『里山資本主義』を提唱される藻谷浩介さんがいろいろな所で講演をされ、環境課題を解決するためには、木のエネルギーが大切であり、里山をしっかりと守り、人々の心のふれあいを楽しもうと説かれています。そうした意味でも、浦高百年の森づくりは、先駆的な活動であると自負

するところでございます。10年を節目にさらに良い方向にしていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いするところでございます。」



〔校歌の演奏をする吹奏楽部〕



〔校歌の指揮をする奈良先生〕



〔式典最中には晴れ間も覗いて〕



〔あいさつされる川野同窓会会長〕



〔あいさつされる杉山校長〕



〔功労者表彰された5人の方々〕

続いて、杉山剛士浦高校長から「浦高百年の森、10周年おめでとうございます。1週間前に浦高も創立120周年式典を開催させていただきましたが、奨学財団の設立など同窓会の皆様にはさまざまな面でご支援をいただいていることを重ねてお礼申し上げます。さて、この森では何度かお話をいただいておりますが、中国の管仲の言葉に『一年の計は穀物を植えるに及ぶものではなく、十年の計は木を植えるに及ぶものではなく、終身の計は人を植えるに及ぶものはない』というものがありますが、まさに10年の計は木を植えることであり、100年の計は人を育てるという浦高百年の森の理念に通じるものだと確信いたします。この活動が末永く続くことをお祈り申し上げ、お祝いのごあいさつとさせていただきます。」

お二人のご挨拶の後、百年の森の功労者の方々5人に川野会長から感謝状が渡されました。今回、感謝状が贈られたのは、埼玉県農林協会会長であった坂本全平さん、土地所有者の宮下幸子さん、森づくりの指導や整備の協力をしてくれている埼玉県農林公社、10年にわたり百年の森実行委員会の副委員長を務めていただいている綿貫均さん（毎回、美味しいキノコ汁なども作ってくださる方です）、実行委員会第2代委員長の小室正人さんでした。ありがとうございました。

この日の参加者は、同窓会から43人、生徒15人、教職員2人、保護者23人、その他9人、地元関係者2人、農林公社職員2人の96人でした。

＊ ＊

◆全員で記念写真撮影と記念植樹

記念式典を終えて記念写真撮影を行い、参加者全員で林道沿いにヤマツツジ 100本を植えました。



〔鉄鍬で土を掘り〕



〔川野会長も苗木を植えて〕



〔杉山校長も植栽〕



〔全員で植えると早い〕

96名で100本の植栽ですから、作業はあっという間でしたが、それでもヤマツツジがしっかりと根付くように丁寧に土を掛け、根巻き部分を踏み固めていきました。



〔参加者全員で記念撮影〕

＊ ＊

◆記念演奏会と記念会食会

11時を過ぎて、山小屋前でオペラ歌手の富田千穂さんの歌声「サンタルチア」「フィガロ」、吹奏楽部生徒の演奏「バラードメドレー」等を楽しみました。



〔富田さんの熱唱〕



〔吹奏楽部演奏を楽しむ〕



〔記念品の間伐材マグネット〕



〔記念会食のバーベキュー〕



〔会長と校長先生、春日部地区浦高会の5人と伊藤家〕

春日部地区浦高会からは5人の参加でしたが、今回も伊藤貴成さんの家族が全員参加、5歳のお子さんは、お母さんのお腹の中で初参加だったそうです。振り返れば、あっという間の10年ですね!?(^o^)^v